



## 3学期学級委員を認証

1月14日(水)、全校朝会にて、3学期学級委員として頑張る18名を認証しました。一人ひとり、決意の言葉を発表し任命証を受け取る姿から、学級委員としての使命感が伝わってきました。クラスの代表として活躍することを期待しています。

学級	学級委員	
1の1	藤原 大成さん	鏡 恋音さん
1の2	大沼 剛太さん	堀越 小絵さん
1の3	関 瑛太さん	矢久保百乃さん
2の1	今井 大雅さん	遠藤 柚葵さん
2の2	青木 想さん	岡崎 心音さん
2の3	中塚 陽路さん	須藤 莉音さん
3の1	平岡 璃空さん	山口陽菜乃さん
3の2	板坂虎汰郎さん	川井 ゆいさん
3の3	菊地 健心さん	大沼 泉さん



## 県大会で響いた赤中サウンド 金賞に輝く!

1月17日(土)、酒田市の希望ホールで行われた山形県アンサンブルコンテストに、「木管三重奏」として本校吹奏楽部の3名が出場し、見事金賞を受賞しました。出場49チームの中での金賞受賞で、本校では9年ぶりの快挙です。出場にあたり、ご声援いただいた多くの方に感謝申し上げます。出場者3名と激励・応援に行った生徒の代表の感想を掲載いたします。

### ♪石井希果さん(クラリネット担当)

県大会に出場して一番に感じたことは、応援の温かさです。不安や緊張で大変な時、吹奏楽部の仲間や先生方・友人の応援が支えになり、今回の結果につながったと思います。夏のコンクールでもがんばります。

### ♪高橋美羽さん(フルート担当)

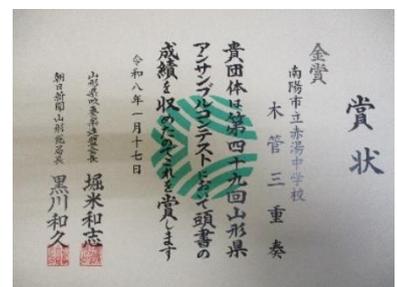
目標だった金賞を取ることができたことは自信につながりました。一方、東北大会に行くことができなかった悔しさはあります。夏のコンクールでは、悔いの残らないように日々努力していきます。応援してくださった皆さん、ありがとうございました。

### ♪渡部咲さん(サクソフォン担当)

悔いなく演奏することができました。たくさんの方の支えがあり念願の金賞を取ることができました。応援してくださった皆さん、ありがとうございました。

### ♪渡部茜さん(出場団体の演奏を聞いて)

たくさんの方の団体の演奏を聞くことができるとても良かったです。みんな上手でとても勉強になりました。来年は、私も県大会に出場することができるよう頑張っていきたいと思いました。



# ENGLISH SPEECH CONTEST

1月20日(火)、南陽市中学校英語弁論大会がシェルターななようホールで行われました。本校からは、1年生4名、2年生4名が出場し、これまでの練習の成果を存分に発揮した見事な発表をしてきました。出場生徒は、2学期から、冬休み期間や土日も練習に取り組んできました。英語の発音に気を付け、弁論にふさわしく、強弱をつけ、ジェスチャーも織り交ぜながら発表することができました。大会結果は以下の通りです。

【Recitation 1年生の部】第1位 落合凜音さん、第3位 島貫莉菜さん

【Recitation 2年生の部】第1位 小島暖大さん、第2位 神棒 晟さん

【Speech の部】第2位 高橋 湊さん



## 市内中学生が交流 地域間交流セミナーで沖縄へ

1月15日(木)～17日(土)の2泊3日の日程で、南陽市地域間交流セミナーが行われ、本校生徒8名を含む市内中学2年生12名が、沖縄県に行き、沖縄の文化や歴史を学んできました。また、糸満市立三和中学校を訪れ、三和中学校の生徒と交流をしてきました。貴重な体験をした生徒たちと引率した教員の感想を紹介します。

### ◇佐野 碧さん

戦争の理不尽さや不条理さを学びました。山形と沖縄の文化、歴史、方言などの違いを体感しました。気温の違いは特に印象に残っています。関わってくださった皆さんに優しくしていただき、とても楽しかったです。

### ◇関 颯一郎さん

首里城の見学では、目には見えない神の存在や礼儀の大切さを学び、現地の中学生や民泊した家での交流からは、沖縄独自の文化を深く学ぶことができました。今回参加して、先を見通す力やコミュニケーション力を付けることができました。

### ◇安達久美子先生

沖縄は、冬であるにもかかわらず草木が生い茂り、雲一つない青空が広がっていました。美しい自然や温かい文化に触れる一方で、沖縄戦の歴史に向き合う時間は、胸が締めつけられる思いの連続でした。激しい地上戦の舞台となった沖縄。当時の戦況や人々の体験を知る中で、平穏な日常が決して当たり前のものではないこと、そしてそれを次の世代へ伝えていく責任の重さを、改めて強く感じました。「百聞は一見にしかず」有意義な三日間となりました。



ひめゆりの塔見学



三和中での交流会

## 「自主・自立」のあくなき追求

校是「自主・自立」を体現する本校生徒の姿を紹介します。

過日、次のようなハガキが学校に届きました。「先日、車を運転していると横断歩道のところに赤中生がいたので止まりました。すると、横断歩道を渡り終えた赤中生は、私の方を向き丁寧に頭を下げてくださいました。心温まる瞬間で、大変うれしくなりました。」と。本校では「交通安全ありがとう運動」を展開しています。地域での生活においても自然体で実践していることに嬉しく思いました。

また、11月に全校生を対象としてカローリング体験講座を実施いたしました。その後「赤中生がカローリング教室に参加してくれてありがたい。」と、南陽市カローリング協会の佐藤会長さんからお話をいただきました。体験講座での生徒の反応は上々でしたが、それをきっかけに毎週開催されている教室に参加するようになった生徒がいるとは驚きでした。

今、学力と共に「非認知能力」の育成が注目されています。非認知能力は数値では測れない「主体性」「社会性」「協調性」「自己肯定感」「適応力」「コミュニケーション力」等の要素があります。それは、本校が追求する「自主・自立」の精神と共通する資質・能力だと思えます。今回紹介しました生徒の姿から様々な場面で「自主・自立」を体現できる力を育成していくことの大切さを再認識しました。